

[035]九州大学大型計算機センターニュース : No.35

<https://doi.org/10.15017/1477839>

出版情報 : 九州大学大型計算機センターニュース. 35, pp.1-3, 1972-05-17. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :



九州大学 大型計算機センターニュース

No. 35

福岡市大字箱崎
九州大学大型計算機センター
共同利用掛(TEL 092-64-1101)
内線 2256

目 次

- ◇ 処理プログラムのレベルアップについて 1
- ◇ C ジョブ, D ジョブの計算依頼について 3

◇ 処理プログラムのレベルアップについて

6月1日よりFORTRAN, ALGOL, BACCUS, LINED がレベルアップされます。これにより従来障害であつたもののうち、以下の点が修正および未修正ですのでお知らせします。なお未修正のものは急いで修正するようメーカーに要望中ですのでしばらくお待ち下さい。

ALGOL

V-3, L-9からV-3, L-10にレベルアップされました。

<障害修正内容>

1. プログラム結合の修正

(複数本のプログラムを1本にして実行するとAL120Y ZERO NO WARIZAN. OTO SURU が発生し、演算結果がおかしくなる場合、および2回目の外部手続きの呼び出して「要注意命令実行」となる場合があつたのを修正。)

2. OUTLISTでMTに書き出し、同じ書式でINLISTで読むとAL230W 'DATA' GA(SYOSIKI)TO AWANAI.(HYOOZYUN SYOSIKI)TO SURU. が出る(但し、論理機番11を使用のときのみ)のを修正。
3. 繰り返し文 for V:=A step B until C do ~ でAとCが同じ添字付変数の場合の処理がおかしかったのを修正。
4. 添字付変数の最適化処理で番地計算がおかしくなる場合があつたのを修正。
5. 専用フィルム上に作成したALGOLソースプログラムの翻訳ができなかったのを修正。

<未修正障害内容>

1. 複素数型の値をパラメータとする ARCTAN の値がおかしくなる。
2. FORMAT_n で反復子が 0 の場合、結果がおかしくなる。
3. ' - . 6D^l + ZZ ' の書式で出力した場合、指数部がおかしくなる。
4. 5 1 4 文字の記号列を OUTPUTO で出力した場合、5 0 8 文字しか出力されない。
5. 添字式を if (if ~) ≡ × then ~ とした場合、AL053Y (SANZYUTUSIKI) DE (KATA) AYAMARI . AL061Y (RONRISIKI) DE NAI . が出る。
6. 磁気テープファイル上に作成した ALGOL ソースプログラムの翻訳が正しく行なわれない場合がある。
7. 手続きの実パラメータとして行先式を用いると AL090Y , AL042Y , AL045Y , AL053Y が出る場合がある。
8. INOUT 指定および FD 文で正しく指定しているのに AL225Z が出る。
9. 翻訳時にエラーが検出されているのに完了コードが 0 0 0 となる場合がある。
10. 論理機番 3 0 0 を使用すると AL232Z が出る。

FORTTRAN

V - 3 , L - 1 4 から V - 4 , L - 1 にレベルアップされました。

<障害修正内容>

1. FORMAT 文中に ' (0 ケタ) ' の文字定数がある場合にエラーとなつたのを修正。
2. 入力データの指数部が - 1 0 0 0 0 以下の場合、結果を 0 とする。
3. 翻訳時の MAP 上の SIGN の TYPE を R とする。
4. エラー番号 3 1 0 , 3 1 1 のエラーレベルを X に変更する。
5. F 交換で出力する際、全体の桁数が多い場合の障害修正。

<未修正障害内容>

1. DO ループ内の入出力文に END , ERR の指定がある場合、DO ループが正常に動作しない。
2. G 変換の出力で値が F 変換と E 変換との境にあり、四捨五入すると変換が変わる場合、正常動作しない。
3. 文関数を多く使用する場合、5 9 番めの文関数が正常に翻訳されない。

BACCUS

V - 2 , L - 1 から V - 2 , L - 3 にレベルアップされました。

<障害修正内容>

1. CALL 文のパラメータに値を入れていない配列名を指定した場合、正常な答が得られなかったのを修正。
2. サブルーチン名を2行にわたって入力した場合、正常に処理されなかったのを修正。
3. 配列名指定によるARRAY全体の出力が正常に行なわれなかったのを修正。
(負の値を持つものを出力した後、正常に実行しなかった)
4. ACT 文実行中に文の修正を行ない、再び実行を開始するとABORされていたのを修正。

LINED

V-2, L-1からV-2, L-2にレベルアップされました。

<障害修正内容>

1. はじめのINPUT 指令で入れた行が10行以下だと、DELETE がきかない場合があったのを修正。

◇ Cジョブ, Dジョブの計算依頼について

センターニュース№14で、Cジョブ, Dジョブを計算依頼される場合は、計算依頼カードの「システム使用量」欄にシステムリソース使用予想量を記入していただくようお願いしたのですが、記入もれが非常に多いので、今後計算依頼される場合は、必ず明記の上依頼して下さい。なお詳しくは「センターニュース№14」をご覧ください。

